

## 第2回湯沢市総合振興計画審議会

日時：平成28年8月4日（木）午後6時

場所：湯沢市役所 本庁舎2階 21・22会議室

### 次 第

1. 開 会

2. 任命書交付

3. 湯沢市総合振興計画について（諮問）

4. 市長あいさつ

5. 説 明

基本構想の構成イメージについて

（参考資料）振興計画期間（後期）の主な事業概要

6. その他

7. 閉 会

湯企第324号  
平成28年8月4日

湯沢市総合振興計画審議会

会長 高嶋伸夫様

湯沢市長 齊藤光喜

湯沢市総合振興計画について（諮問）

湯沢市総合振興計画審議会条例（平成17年湯沢市条例第235号）第2条第1号及び同条第2号の規定に基づき、湯沢市総合振興計画（基本構想・基本計画）について、貴審議会の意見を求めます。

# 第2次湯沢市総合振興計画

## 基本構想イメージ

赤字を修正して、8月4日の審議会資料としております。

平成29年 月

〈空白〉

# はじめに

〈市長あいさつ〉

〈市長あいさつ〉

〈目次〉

内容

計画策定の趣旨 .....	1
計画の構成と期間.....	1
計画の評価と管理.....	2
湯沢市の状況.....	3
位置・地勢.....	3
気 候.....	3
歴 史.....	3
人 口.....	4
産 業.....	5
<b>第1章</b> 基本理念と市の将来像 .....	7
まちそだての基本理念 .....	7
市の将来像.....	8
まちそだての基本目標 .....	9
<b>第2章</b> 施策の大綱.....	10
<b>第3章</b> 目指すべき地域構造.....	20

# 序論

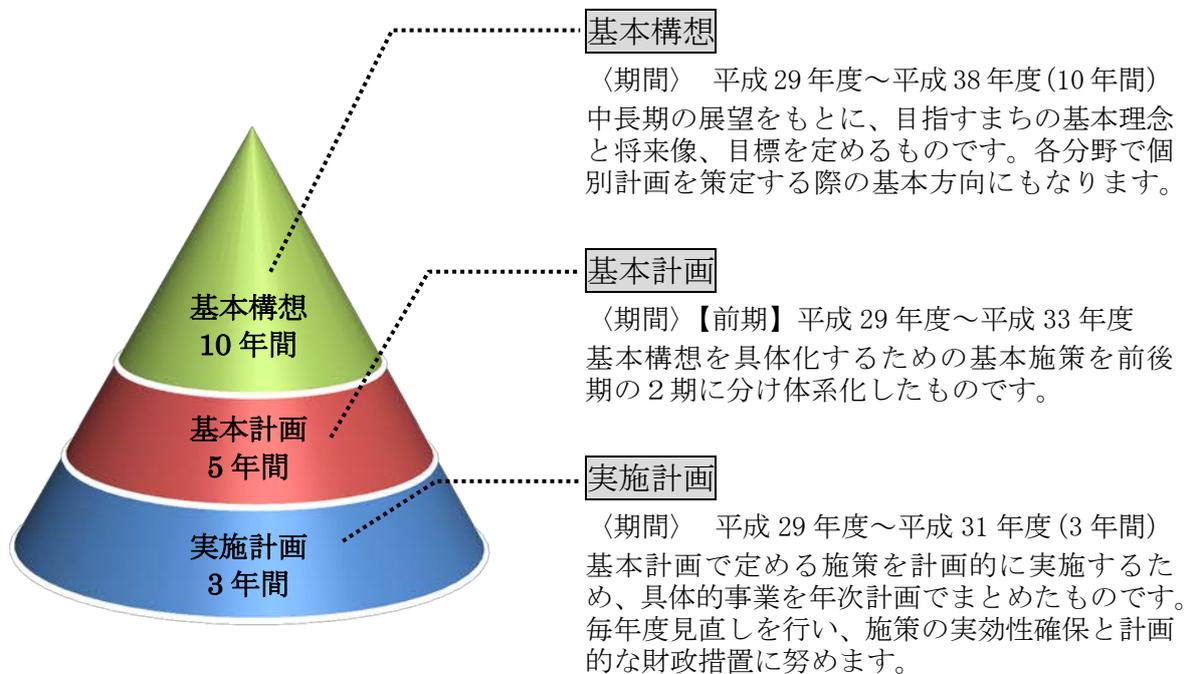
## 計画策定の趣旨

平成17年3月22日に4市町村が合併して誕生した新湯沢市では、「湯沢市まちづくり計画（新市建設計画）」を基本として策定した総合振興計画に基づき、「人と自然が輝き、ふるさとの技がさえる美しさあふれるまち」を目指し、一体感のある新市の形成を図ってきました。まちの土台づくりの期間であったこの10年間は、リーマン・ショックを発端とした景気後退、東日本大震災、日本創生会議が打ち出した消滅可能性都市がクローズアップされるなど、日本全体の情勢が大きく変化した期間でもありました。

今後は、これまで築き上げてきた成果を土台として、社会情勢等の変化に柔軟に対応しつつ、本市の強みを活かして持続可能なまちへ“そだてる”期間となります。市税収入の減や交付税の合併特例終了などにより財政規模が縮小していく中であっても、未来を紡ぐまちづくりの指針として第2次湯沢市総合振興計画を策定します。

## 計画の構成と期間

第2次湯沢市総合振興計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層構成で構成します。

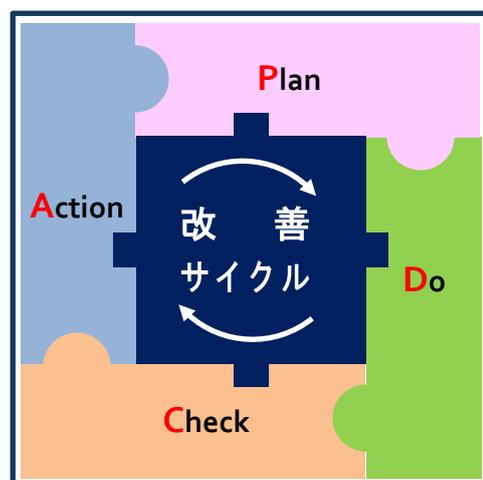
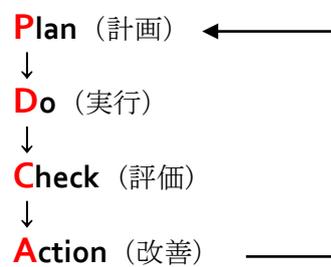


## 計画の評価と管理

市の目指す将来像に近づくために実施する事業は多岐に渡りますが、投資できる財源は限られており、効率的かつ有効な分配が求められています。

そのためには、各施策や事業について検証と評価を行い改善していく必要があるため、目標への到達度を計る客観的かつ分かりやすい指標を設定します。

検証にあたっては、PDCA サイクルにより事業の継続性を保ちながら、情勢変化へも対応を行います。



## 湯沢市の状況

### 位置・地勢

本市は、秋田県の南東部に位置し、宮城県、山形県の両県に接しており、両県とは、秋田県の南の玄関口として、国道13号、108号及び398号で結ばれ、県都秋田市からは約70km、仙台市からは95kmの距離にあります。また、市の面積は790.91k㎡で、秋田県の面積の約6.8%を占めています。

地勢は、東方から南方にかけての奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれ、それらの山々を源に、南北に貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川や役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

### 気 候

本市の気候は、内陸性気候で年間の気温差が大きく、1月と8月の月別平均気温では約23.6度の差があり（1月平均-1.6℃、8月平均22.0℃）、一年を通して風速1.4m～3.4m前後の西北西の風が吹いています。

また、降水量は年間1,534mm程度ですが、冬季には積雪が多く、最大積雪量は市街地で1m、山間地域では2mに達し、積雪期間は年間100日以上にも及ぶ豪雪地帯となっています。

### 歴 史

湯沢地域には古くから人が住みついていた形跡があり、縄文時代の遺跡が多数発掘されている。平安期の謎に包まれた才女「小野小町」は、湯沢市小野が生誕地と言われ、岩屋洞などの多くの史跡や伝承が守り継がれています。



1193年には、小野寺氏が稲庭城を築き、約400年にわたり統治したと言われ、関ヶ原の戦いの後、1602年には佐竹領となり、市内各所に小野寺氏、佐竹氏の時代から伝わる祭りや文化財などが多く見られます。

1603年、佐竹義種が城主として湯沢城に入城以来、湯沢は佐竹南家の城下町としてその街並みが形成されました。1606年には院内銀山が発見され、藩直営の銀山として繁栄し、最盛期には銀山の人口が15,000人を数え、天保の盛り山と言われました。明治38年には奥羽本線が全線開通し、昭和38年に皆瀬ダムが完成、平成8年に国道108号鬼首道路、平成9年に湯沢横手道路が開通し、生活基盤の整備が進んでいます。

平成17年3月22日に、湯沢市、稲川町、雄勝町及び皆瀬村が合併して新たな湯沢市が誕生し、現在に至っています。

## 人 口

本市の人口は、国勢調査がスタートした大正9年以降増加し続け、昭和30年に79,000人を超える人口のピークを迎えました。しかし、その後は自然減・社会減が徐々に拡大し、平成27年の国勢調査では46,620（速報値）人まで減少しています。

平成26年5月、日本創成会議は、少子化に伴う人口減少によって、平成52年（2040年）までに存続が困難になると予測される全国896自治体を「消滅可能性都市」と発表し、この中に本市も含まれています。

このような状況を踏まえ、本市では平成52年（2040年）に31,664人の人口を確保することを目標とした「湯沢市人口ビジョン」と、その実現に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をとりまとめています。

図1-湯沢市の人口推移と目標

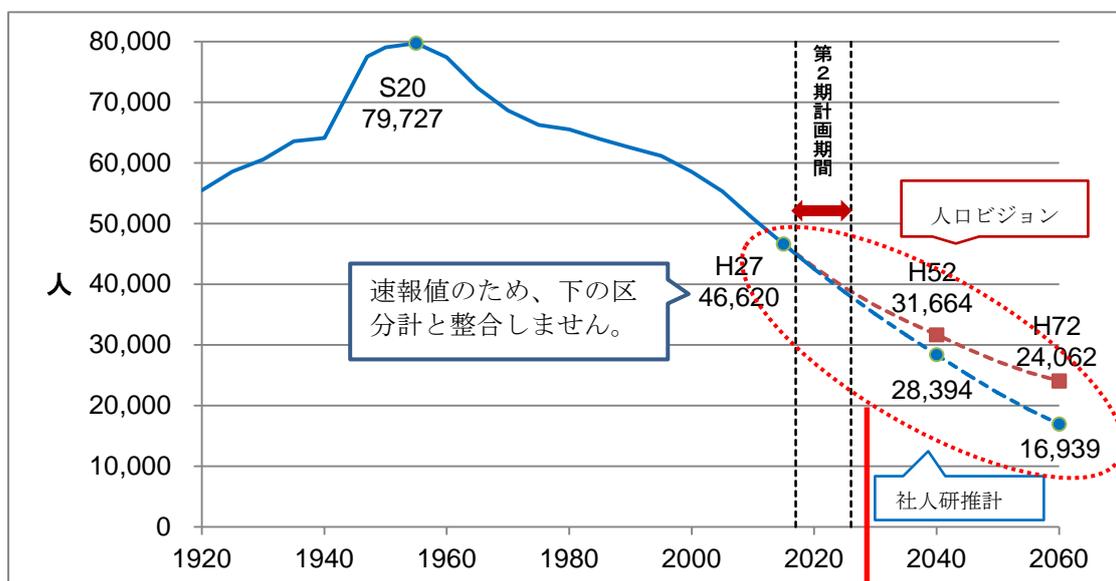
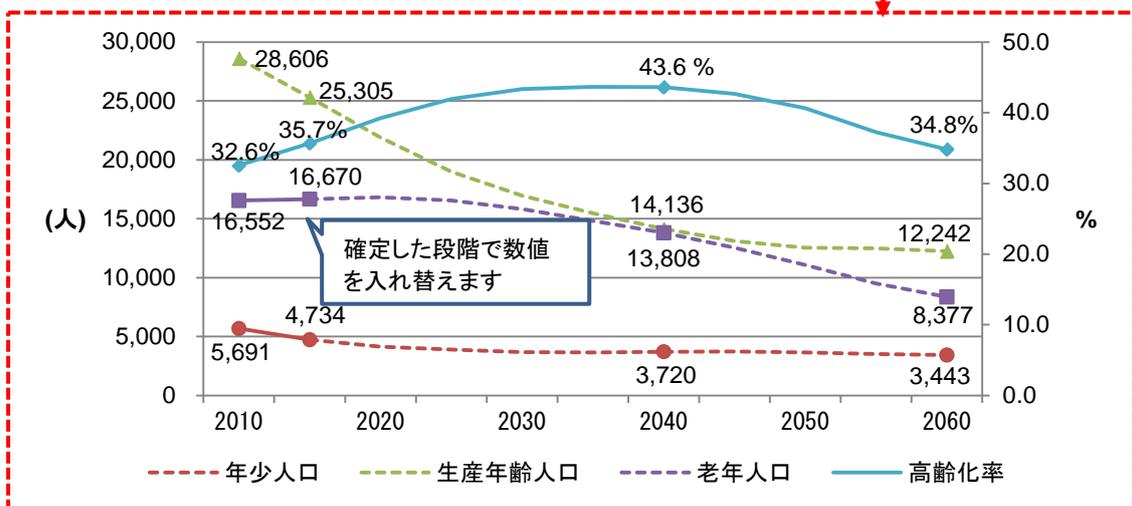


図2-人口ビジョンの年齢3区分別推計



## 産 業

### (1) 人口移動の最近の状況

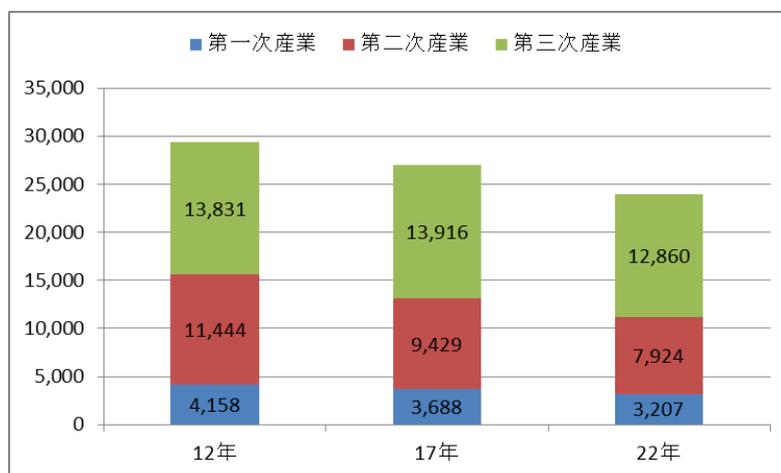
産業区分別就業数の推移においては、全体の就業者数は減少傾向となっており、平成12年の就業者数29,433人に対し平成22年には就業者数23,991人と、ここ10年で5,442人、率にして約18%以上も減少しています。

産業区分別の推移としては、第1次産業は微減傾向であり、第2次産業はここ10年で3,520人、率にして約30%以上も減少しています。第3次産業においても緩やかではあるが減少傾向を示し始めています。

就業者数に対する産業区分別就業割合をみても、第二次産業就業者割合が減少し、第3次産業就業者割合が増加しています。

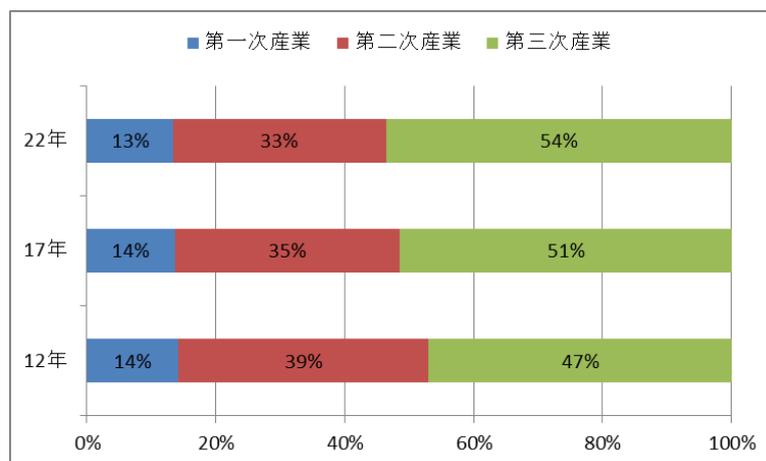
確定した段階で H27  
年分を追加します

図-産業分類別就業数の推移



(出典：「国勢調査」より作成)

図-産業分類別就業割合の推移



(出典：「国勢調査」より作成)

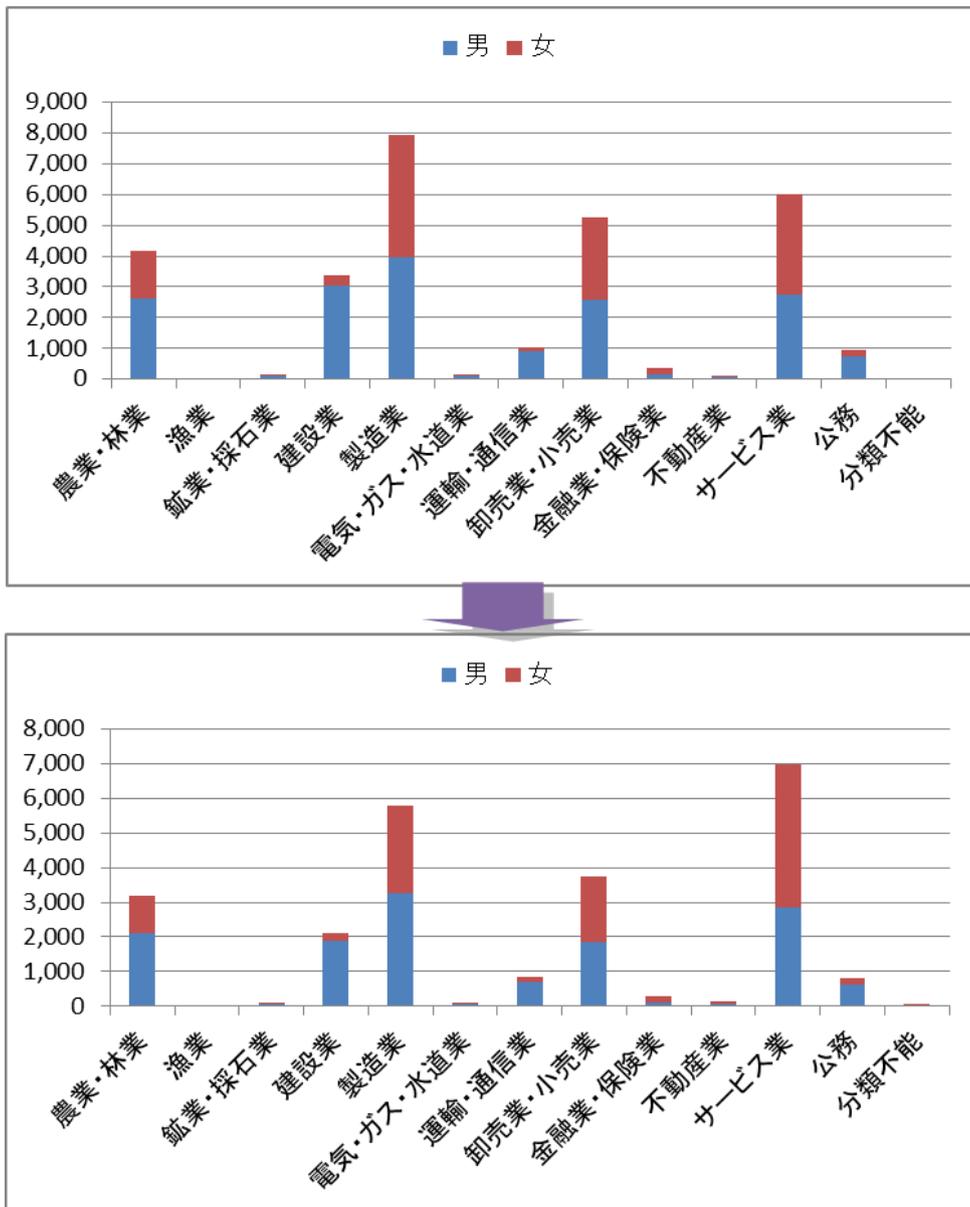
(2) 産業分類就業者数の状況

平成22年国勢調査の産業分類別に見ると、就業者数が多い順に男性は、製造業、サービス業、農林業、卸売・小売業となっており、女性は、サービス業、製造業、卸売・小売業、農林業、建設業となっています。全体としては、サービス業、製造業、卸売・小売業、農林業、建設業となっています。

平成12年国勢調査と比較した場合、3位から5位までの趨勢に変わりはないものの、1位が製造業からサービス業へ、2位がサービス業から製造業へと転換しています。

確定した段階で  
入れ替えます。

図-産業大分類別就業者数の推移



(出典：「国勢調査」より作成)

# 基本構想

## 第1章 基本理念と市の将来像

### まちそだての基本理念

基本構想の根底となる3つの考え方を基本理念とし、誰もが自分のできることに積極的に取り組み、共に活力ある丈夫なまちへ育て、創りあげます。

#### ○安心と幸せがある、暮らしの質感が高いまちへ育てる

人やコミュニティのつながりを太く強くし、誰もが地域に見守られながら自分らしく暮らせるよう、まちの「質」の向上を目指します。

#### ○地域を誇れる、存在感のあるまちへ育てる

豊富な地域資源の磨き上げと埋もれている資源の発掘、これらの掛け合わせで存在感のある“Yuzawa”を構築・発信することにより、地域への誇りと愛着の醸成を目指します。

#### ○可能性が広がる、夢が生まれるまちへ育てる

国内外との交流の活性化や生涯を通じての教育・学習機会を確保し、多彩な働き方や暮らし方ができる、夢へ挑戦する活力あるまちを目指します。

## 市の将来像

市広報、ホームページにより「美と共創」をコンセプトに目指す将来像を募集しました。  
(8月1日締切、応募状況は以下のとおり。)

### 公募① 人・技・自然美しく、笑顔をつなぎ、共に未来を描くまち

人の温かさ、技の冴え、包みこむ自然のそれぞれが美しく、暮らす人々が笑顔で、共に未来を創りあげてゆくまちという思いを込めました。

### 公募② 湧きあがれ 共創のまち！

市の資源である「地熱」のごとく“湧く”をイメージ  
地域の賑わい、新たな仕事や雇用、潜在する自然の美しさの再発見、地域への愛着の醸成、さらには、本市への期待感など“湧く”をキーワードに躍動感あふれ、市民と共に創りあげるまちづくりを目指す。  
抽象的ではなく躍動的な表現とし、将来像というよりは市政が進むべき方向への力強い実効性を意味する。

### 公募③ 老いも若きも力を併せ 伝統の技を創り挙げる 美しい絆が冴えるまち

高齢化時代、老いも若きもお互いに尊敬しあう美しき心（絆）がなければ、伝統の技も伝承しない、美しい山河も創ることができない。

### 【事務局例】 人のつながりで磨かれる、熱く輝く共創のまち

～ひと・もの・ことの繋がりを再生し、つながりの相乗効果で<sup>エネルギー</sup>熱を生み、明日を磨く～

前計画の将来像は「美」をテーマとし、美しいもので満ちあふれた市をさらに磨き上げることを目指してきました。自然のままの美しさのみならず、多くの人携わることによって発現する美しさが市の活力になると考え、前テーマを「磨く」で継承し、かつての湯沢の繁栄を生んだ銀(院内銀山)のイメージ「輝く」と現在の湯沢を象徴する地熱の「熱」で、過去から現在、未来へ持続するゆざわを表現しています。

## まちそだての基本目標

### 〈みんなで築く夢が輝く丈夫なまち〉

個性豊かで丈夫なまちを目指し、関わるすべての人による共創のまちそだてを推進します。

### 〈健康と暮らしをともに支え合う笑顔があふれるまち〉

子どもからお年寄りまで、地域のすべての人が支え合い、健康で、自分らしく暮らせる共生のまちへそだてます。

### 〈ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち〉

市民所得の向上と若年層を中心とした定着促進のために、起業支援や雇用の創出と共に、地域資源とふるさとの技によってゆざわブランドをそだて、発信します。

### 〈あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち〉

ゆざわの歴史や文化に対する理解を深め発信することで、将来を担う若者への継承と共に、関心ある人が集うまちへそだてます。

### 〈豊かな自然が輝く安全で高質なまち〉

市民の安全・安心を確保し、暮らしの質を高めることで、ここに暮らすこと自体を誇れるようなまちへそだてます。

## 第1節 〈みんなで築く夢が輝く丈夫なまち〉

### ① 共創によるまちそだての推進

人口が減少する中で社会機能を維持するためには、これまで以上にそれぞれが多様な役割を果たすことが求められてきます。地域内だけでなく、ゆざわを応援してくれる地域外の力も合せて課題を克服し丈夫なゆざわに育てます。

#### ◇地域課題への取り組み体制の構築

- ・まちづくりをコーディネートできる人材を育成します。
- ・住民共助モデル事業など、地域課題の解決への連携を支援します。

#### ◇地域づくり拠点の整備

- ・地区センターなどを中心として自治組織の活動拠点を整備し、特色のある自立した地域運営を支援します。

### ② 若者と女性の活躍推進

これまで意向を反映しにくかった若年層や女性の関与を強化し、自分ごととして参加意欲の向上を図ります。

#### ◇若者と女性の活躍を推進する条例整備の検討

- ・少子高齢化が進むまちの活力を取り戻すため、若者と女性の活躍を推進する方向性を明確にします。

#### ◇若者や女性の視点を生かした活性化を進めます。

- ・若者や女性ならではの視点や発想を活かし、施策への影響力を高めることで参加意欲を高揚させます。

### ③ 財政・行政経営の効率化と強靱化

効率的で持続できる市政運営を行うため、歳出の適正化や自主財源の確保、効率化を進め、まちの体力向上を図ります。

#### ◇開かれた行政運営体制の推進

- ・市政に関する情報共有のあり方やオープンデータ化を検討します。
- ・パブリックコメント等による市民の意見反映の機会を拡充します。
- ・来庁者の利便性を向上します。

#### ◇ICT活用による市民サービス向上と効率化

- ・多様な情報媒体を効果的に活用し、サービス強化を進めます。
- ・湯沢市行政情報システム最適化ガイドラインに基づき、効率的、効果的なICT活用を目指します。

#### ◇効率的な行財政運営と資産管理

- ・適切な職員の定員管理と職員の能力向上に努めます。
- ・自主財源の確保と事業の見直しによる歳出の適正化に努めます。
- ・将来への負担を軽減するため、公共施設等の適正な保有と管理運用に努めます。

## 第2節 〈健康と暮らしをともに支え合う笑顔があふれるまち〉

### ① にぎやかな家庭でいっぱいの子育ちの実現

新しい家庭を築きたいひとを応援し、出会いの機会の創出や結婚から子育てまでの支援体制の充実を図ります。

#### ◇結婚への応援

- ・出会い・きっかけ作りのイベント開催やマッチング事業の充実を進めます。

#### ◇出産に関する支援

- ・子どもを持ちたい人の希望が叶うよう支援を行います。

### ② 地域ぐるみの子育て社会の実現

子育てについて、気軽に相談や支援を受けられる環境の充実を図り、育児に関して孤立させない社会の構築を進めます。

#### ◇保育・幼児教育の充実

- ・教育・保育施設の環境を整備し、良質な保育や幼児教育により安心安全な子育て環境の充実を図ります。

#### ◇放課後児童健全育成の環境整備

- ・こどもの安全な居場所を確保するため放課後児童健全育成施設等の充実を図ります。

#### ◇子育て情報と支援の充実

- ・子育てに関する情報共有ツールの充実を図ります。
- ・支援拠点の整備と子育て共助に係る組織化を図ります。
- ・子育てに要する、経済的負担の軽減を検討します。
- ・ひとり親家庭への支援を行います。
- ・児童虐待やDV等への支援を行います。
- ・心身の発達に偏りがある子どもへの支援を行います。

### ③ 心身が健康で活力あるまちの実現

健康を増進し発病を予防する「一次予防の推進」と、疾病の早期発見・治療管理を適切に行い生活の質を高める「重症化の予防」に重点を置き、健康寿命の延伸を図ります。

#### ◇ライフステージに合わせた保健予防活動の充実

- ・健（検）診をはじめ、適切な保健活動により生活習慣病の発症と重症化予防に取り組み、早世や要介護の減少に努め、健康寿命の延伸を図ります。

#### ◇心の健康を守る支え合いの社会

- ・心の健康や病気に関して正しく理解し、地域の中で支えあいながら孤立を防ぐ地域社会を目指します。

#### ◇ライフステージに合わせた体力の維持向上

- ・生涯のどの時期でもスポーツに参加できる環境を整備し、健康づくりと基礎体力の向上を図ります。

#### ④ 福祉の支え合いとつながりの強化

共助のつながりの再生・新生・強化によって、安心でお互いに頼ることができる福祉社会を目指します。

##### ◇共助意識の醸成

- ・地域のひとりひとりが自分のできる役割を積極的に担い、支え合う社会を目指します。

#### ⑤ 充実した長寿生活の実現

高齢化社会の中にあっても、住み慣れた地域で健康で充実した日々を過ごせるよう、経験を活かしての社会参加機会の充実や予防介護、介護福祉サービス等の支え合い体制の充実を図ります。

##### ◇高齢者支援体制の充実

- ・介護予防や在宅支援を充実させ、地域主体で支え合いの仕組みづくりを進めるとともに、高齢者施設の計画的な整備・運営に努めます。

##### ◇高齢者の社会参加機会の充実

- ・高齢者の知識や経験、技術を地域の財産とし、若い世代へ伝える機会をつくるなど社会参加を促進します。

#### ⑥ 障がいがあっても自立した生活ができるまちの実現

障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう、雇用の場の確保や社会参加を進めるための支援を推進します。

##### ◇自立支援施策の充実

- ・自立した日常生活や社会生活を営めるよう、生活支援や障がい者施設の充実を図ります。

##### ◇障がい者の社会参加機会の充実

- ・地域行事等への参加など、積極的な社会参加の促進を図ります。

#### ⑦ 安心して医療保健サービスが受けられるまちの構築

安定・安心の医療環境を維持し、生涯にわたって健やかに生活できるよう関係機関との連携を強化します。

##### ◇地域医療体制の充実

- ・医療需要に対応した安心な医療体制の確立と、地域格差の解消を図ります。
- ・医療保険制度の健全運営を図ります。
- ・医師確保対策の充実を図ります。

##### ◇救急医療体制の強化

- ・救急医療体制の確保と救命士などの人材育成、救命設備の計画的整備を図ります。

##### ◇医療に係る経済的負担の軽減

- ・福祉医療および予防接種助成の継続

### 第3節 〈ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち〉

#### ① 産業基盤の充実強化

定住人口の増加のためには、地場産業が力強く稼げることが必要です。各産業について足腰の強靭化を図り、前へ進むための基盤づくりを進めます。

##### ◇次世代の後継者・担い手の育成

- ・地場産業の後継者となる人材を育成します。
- ・地域農業の発展のため、多様な形態の担い手の育成、組織化を進めます。

##### ◇経営基盤の充実強化

- ・集約化と多角化による効率的かつ安定的な農業経営を目指します。
- ・伝統的地場産業をはじめとした地元企業の経営力強化を図ります。

##### ◇生産基盤の整備強化

- ・主力農産物の生産基盤の強化を図ります。
- ・林業基盤の整備と森林機能の維持管理
- ・農地集積や土地改良など、生産の効率化を図ります。

##### ◇観光基盤の整備強化

- ・国内外の観光客に感動と癒しを提供する観光資源の充実を図ります。
- ・多様化する需要に対応した受け入れ態勢の充実を図ります。

##### ◇まちなかの賑わい創出と活性化

- ・中心市街地や地区拠点の活気を取り戻すため、「出かけるきっかけ」の提供と動く仕掛けを行います。
- ・地域の誇るべき資源を広く発信するため、イベントやプロモーション活動を展開します。

#### ② Yuzawa ブランドの確立と流通対策の強化

産地間競争を勝ち抜くため、地場製品の安全性の確保とさらなる高品質化を推進し、優れた伝統地場産業の中から、特に自信を持って薦める Yuzawa ブランドを国内外へ展開します。

##### ◇高品質な農畜産物の生産振興

- ・安全かつ高品質を支える技術の研究開発や普及指導を進めます。

##### ◇環境に配慮した生産体制の取り組み

- ・有機栽培や減農薬栽培など、安心な農産物の生産を進めます。

##### ◇流通販路の拡大

- ・市内の優れた生産・加工品を Yuzawa ブランドとして重点的に販路開拓を支援します。

##### ◇競争力の高い商品開発の支援

- ・付加価値を上げる商品開発に対し支援を行います。

##### ◇地産地消の推進

- ・地場製品の地域内利用を促進する取り組みを検討します。

### ③ 起業・創業の促進

新規の起業や事業拡大など、挑戦意欲のあるベンチャー人材を応援します。

#### ◇起業家の誘致

・他地域からAターンによる起業家誘致を推進し、雇用創出と移住定住を図ります。

#### ◇起業創業希望者の支援

・起業希望者への包括的な支援体制を強化し、拠点となるコワーキングスペースの整備や伴走型のフォローアップを行います。

### ④ 雇用・就業環境の充実

産業集積の不足や高速交通網の遅れなどのハンディキャップに負けず、地元での就労機会を確保し、市民所得の向上につなげます。

#### ◇企業誘致の推進

・新たな企業の誘致と既存企業の事業拡大支援を推進し、雇用の確保と拡大促進を図ります。

#### ◇多彩な働き方の支援

・クラウドソーシングの導入をはじめとした在宅就労の拡充など、ライフスタイルに応じた自由度が高く多彩な働き方を後押しします。

#### ◇地元企業の雇用環境向上と人材のマッチアップ

・労働者が安心して就労できるよう職場環境の向上を図ります。  
・地元企業のやりがいや実力を知ってもらい、地元定着と人材確保につながるよう支援を行います。

## 第4節 〈あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち〉

### ① 交流・誘客の促進

豊富な資源の知名度とイメージアップを図り、誘客に繋げると共に国内外と相互交流を図ることで市民レベルでのおもてなしと受入れ態勢の充実を図ります。

#### ◇ジオパークの活用と展開

- ・ジオパークを通じて地域の資源をよく知り、地域の素晴らしさを周りに広め、ジオツーリズムの展開により地域の活性化に繋がります。

#### ◇国際交流による国際感覚の涵養

- ・ドイツ・ジークブルク市との中学生相互訪問をはじめとした、ホストファミリー経験等を通じ市民レベルの国際感覚を育てます。

#### ◇都市農山村交流による活性化

- ・多様な地域や団体との交流を通じ、市の魅力の発信と見識の向上を図ります。

### ② スポーツによる地域活性化と参加環境の整備

心身の健康と活力を向上させるため、世代や目的に応じて参加できる環境整備と指導者の育成に努めます。

#### ◇市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

- ・スポーツ団体との連携を図り、総合型地域スポーツクラブやスポーツ指導者の育成、スポーツ施設の計画的な運営を行います。

#### ◇スポーツを活用した地域の活性化

- ・スポーツ大会やスポーツイベント、合宿等の誘致を推進し、競技レベルの向上と地域の活性化を図ります。

### ③ 移住定住の推進

ゆざわの風土や文化に共感を持ってくれる人への移住の働きかけや受入れ体制の整備を図ります。

#### ◇移住に関するホスピタリティの向上

- ・移住相談員を設置し、きめ細やかなワンストップ相談体制の提供を進めます。
- ・お試し居住体験の実施など、移住受入れ側の体制整備を推進します。

### ④ 学習意欲の高揚と環境の整備

幼少期から生涯に渡って、自らの学習意欲に応じ見識を深め、経験を積むことができる環境整備と充実した教育資源の蓄積を進め、豊かに生きるための力を育てます。

#### ◇創意工夫に満ちた特色ある学校教育の推進

- ・安心して楽しく学べるよう計画的な環境整備と機能の維持・効率化を図ります。
- ・子どもが心豊かにたくましく生きるための力を育てます。
- ・教職員の実践的指導力の向上を図ります。
- ・児童生徒数と学習環境の維持を勘案し、適切な学校配置を進めます。

#### ◇生涯学習環境の充実

- ・教育資源を充実させ、学ぶことにより生活を豊かにする環境を作ります。
- ・自主的な学習を支える、図書館等の施設機能の向上を図ります。

### ⑤ 文化の継承と創造

現在の文化や行事は、長い時間を掛け風土に育まれた大切な財産であり、次の世代へつないでいく責任があるものです。地域行事への参加や伝統文化へ触れる機会を増やすことにより郷土への理解と認識を深め、地域への誇りと愛着を醸成していきます。

#### ◇文化遺産の保護と活用

- ・文化財の保護と活用を通し、郷土の歴史に親しむ環境づくりを進めます。

#### ◇地域の伝統行事の継承と文化活動の活性化

- ・各地域の伝統行事を大切にし、積極的な参加を推進することにより、次世代への継承を進めます。
- ・文化活動や芸術に触れる機会を広げます。

## 第5節 〈豊かな自然が輝く安全で高質なまち〉

### ① 防災危機対策の推進

市民の命と生活を守るため、自然災害をはじめとした危機に対し、迅速で適切な対応ができるよう防災消防体制を強化するとともに、自主防災組織による自助・共助に関する取り組みを推進します。

#### ◇防災危機管理体制の整備

- ・地域防災計画に基づき、災害対応力の強化に取り組みます。
- ・防災関係施設等を整備します。
- ・要援護者情報を共有し、孤立しない見守り体制の構築を推進します。

#### ◇防災意識の高揚

- ・自主防災組織の組織化と活動を支援し、自助と共助の体制づくりを推進します。

#### ◇消防体制の充実

- ・消防機能を維持するため、計画的な施設整備と機器の更新を行います。
- ・各種訓練を通じ消防団のスキル向上を図ります。

#### ◇危険箇所の解消

- ・河川改修や急傾斜地の崩落対策など、危険除去に取り組みます。

### ② 優れた自然環境の保全

身近な自然の豊かさを実感し、その恵みを将来にわたって享受できるよう、環境に対する意識の向上と保護活動に取り組みます。

#### ◇清らかな水環境の保全

- ・河川や池沼の水質や水辺の環境保全、魚族等の資源管理を図ります。

#### ◇豊かな森林空間の保全

- ・針葉樹と広葉樹の混合林化や病虫害対策を進め、地球温暖化の防止や森林機能の保全を図ります。

#### ◇環境保護活動の推進

- ・環境への意識を高めるための啓発活動や保護の取り組みを推進します。

### ③ 安心な生活環境の構築

住む人にも環境にも負荷が少ない、美しく安心な地域環境をつくります。

#### ◇循環型社会の形成

- ・国内有数の地熱資源を活用した地熱発電を筆頭に、再生可能エネルギーの導入と活用を進めます。
- ・廃棄物の削減とリサイクル率向上を推進します。
- ・効率的な処理と施設機能を維持します。

#### ◇環境衛生の向上

- ・クリーンアップ活動を推進し不法投棄対策への取り組みを進めます。
- ・関係機関と連携しながら公害対策に取り組み、環境の保全に努めます。

#### ◇防犯対策の強化

- ・防犯や見守り活動などを地域と共に効果的に推進します。
- ・防犯灯などの防犯設備の適正な整備を進めます。

#### ◇交通安全対策

- ・交通安全運動の推進により安全意識を向上させ、交通事故の減少を図ります。
- ・高齢者の交通安全対策を推進します。

#### ◇消費者行政の充実

- ・無料法律相談や消費者相談などの相談体制を強化します。

#### ◇空家等対策の充実

- ・空家等の維持管理に対して関係機関と連携し、適切な指導を行います。

#### ④ 都市基盤の整備

人口規模が縮小する中でまちを機能的に維持するため、まちを支える都市基盤についてはこれまで以上に計画的かつ適正に整備を行い、生活の質の向上を図ります。

##### ◇計画的な土地利用の推進

- ・国土利用計画に沿い、安易な利用転換を防止し、適正な土地利用に努めます。
- ・コンパクトまちづくりを推進するため、居住等の適切な誘導や規制の在り方について検討します。

##### ◇住宅・宅地の整備と管理

- ・老朽建築物等の維持管理に対して関係機関と連携し、適切な指導を行います。
- ・市街地の再開発や高度利用により空洞化を防ぎ、良好な住環境の形成を進めます。

##### ◇情報通信基盤の充実

- ・情報に関する格差を生じさせないよう、情報通信基盤の高度化へ取り組みます。
- ・災害時の情報伝達手段の強靱化に取り組みます。

##### ◇公園緑地の整備と保全

- ・市民の憩いの場となる公園を適切に維持管理し、まちの緑化を図ります。

##### ◇まちの動脈となる交通体系の整備と利用促進

- ・高速交通体系の整備促進のための活動を推進します。
- ・持続可能な公共交通ネットワークの整備と利用促進を図ります。
- ・道路網の計画的整備と通行安全対策を進めます。

##### ◇雪国の安心な暮らし対策の充実

- ・冬季交通や生活の安全を確保するため、除排雪体制の充実を図ります。
- ・流雪溝や消融雪歩道などの克雪設備の適切な運用を図ります。

##### ◇上下水道の維持整備

- ・生活の基本となる安全な水の安定供給に努めます。
- ・下水道や集落排水施設を適切に整備維持し、公衆衛生の向上を図ります。

## 第3章 目指すべき地域構造

地域構造については、作業中です。

### (1) 将来都市構造

市役所本庁舎と湯沢駅を結ぶ軸を中心としたエリアを「中心市街地」とし、各種の都市的拠点機能の整備を図り、市を象徴する空間の形成を目指します。

各総合支所のある地域や主要集落を「生活・産業拠点」と位置付け、定住環境の整備や地場産業の振興などを重点的に進めます。雄勝中央病院のある山田地区は、医療・福祉サービスも含めた「生活・サービス拠点」と位置付けます。秋ノ宮、木地山高原、小安峡は、それぞれが自然型の観光と生活を融合させた「観光・生活拠点」として、観光施設と生活環境が調和したエリアと位置付けます。

また、これらの「拠点」を結ぶ「軸」の機能を、主要な道路や公共交通機関の整備充実により強化します。国道13号、JR奥羽本線に沿って、横手市、新庄市方面と結ぶ軸は、東北中央自動車道の県境を越えた整備や奥羽本線の新幹線化を促進する意味も含めて、「高速連携軸」と位置付け、広域交流の主軸とします。そのほか、国道108号をはじめ、主要な国・県道に沿って周辺地域と結ぶ軸を「広域交流軸」と位置付け、年間を通じ、安定して迅速かつ安全に交流・連携できる条件を整備します。

中心市街地と主要な拠点を環状に結ぶ「域内基幹軸」の機能を整備し、生活、産業、観光などの域内流動・連携の主軸としていきます。また、これを補完する「域内連携軸」を主要な県道ルートに沿って位置付け、市内のネットワークを拡充させていきます。

## (2) 土地利用の方針及びゾーン別整備の方針

美しく豊かな自然環境や県内有数の穀倉地帯としての農村環境を保全するとともに、都市的な土地利用は現在の市街地や主要集落周辺等に集積します。

その上で、「中心市街地」、「生活・産業ゾーン」、「農業・田園生活ゾーン」、「観光ゾーン」、「自然環境保全ゾーン」の5つのゾーンを設定し、各ゾーンにおける機能の高度化を進めていきます。それぞれのゾーンにおける地域づくりの目標や重視すべき施策分野は次のとおりとします。

### ① 中心市街地

湯沢地区の既成市街地を「中心市街地」と位置付けます。

市全体の社会経済活動の中心的役割を果たす地域として、行政、商業、教育・文化、保健・医療・福祉などの都市的拠点機能を強化します。

魅力ある中心市街地とするために、商業や各種生活サービス機能の集積による活性化、良好な都市景観の形成などを推進します。

### ② 生活・産業ゾーン

主要集落周辺を「生活・産業ゾーン」とします。

多くの市民が居住する空間としての環境を向上させるため、各種の公共的施設の活用も含めて必要な生活基盤の整備を進めるとともに、コミュニティ機能や保健・医療・福祉などの各種サービス機能の充実を図ります。

また、各地域の特色を生かした地場産業の振興や歴史資源を生かした活性化を進めるほか、新たな付加価値を生み出す産業の展開、情報発信活動等の促進により、生活と生産・流通・観光等の産業活動が密接に結びついた活力ある住みよい地域づくりを進めます。

### ③ 農業・田園生活ゾーン

生活・産業ゾーンの周囲の平坦部を「農業・田園生活ゾーン」とします。

農村環境の保全を図るため、県内有数の穀倉地帯としての農業生産基盤を保全・整備するとともに、付加価値や生産性を高める施策を進めます。

また、農業集落の環境整備、社会機能や文化の継承と発展に努め、農業を中心とした生活ゾーンを目指します。

### ④ 観光ゾーン

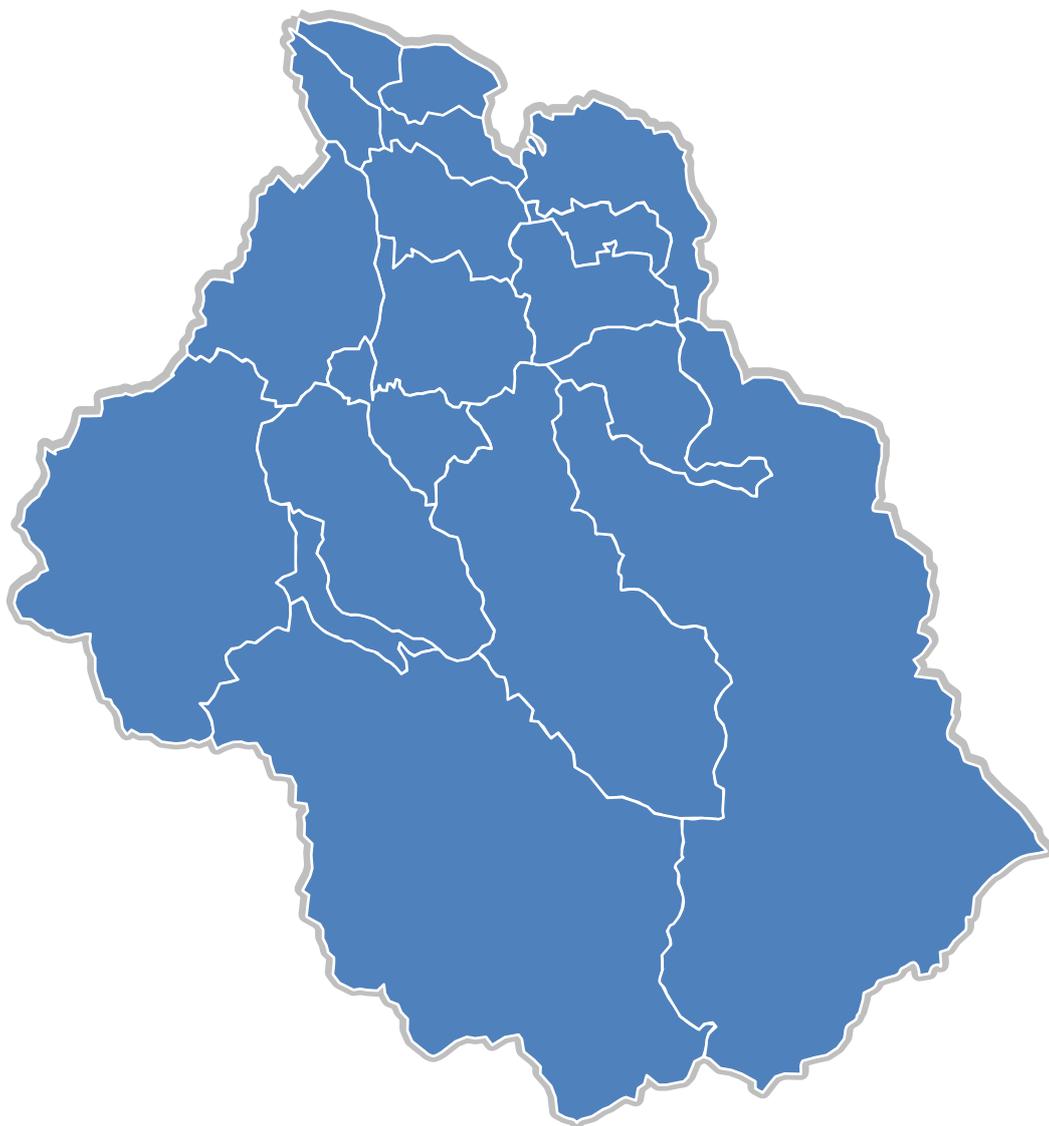
秋ノ宮、木地山高原、小安峡を「観光ゾーン」とします。

豊かな温泉資源や森林等の環境を生かし、その魅力が広く人を集める観光拠点エリアとして資源の保全と整備を進め、環境と生活が調和した観光機能の強化を図ります。また、3地区の連携を強化していきます。

### ⑤ 自然環境保全ゾーン

地域において大きな面積を占めている山林が主となっているエリアを「自然環境保全ゾーン」とします。

豊かな森林や清流等の美しい自然環境をかけがえのない財産として、後世に継承していきます。また、林産物、水、地熱エネルギー等の資源を、自然を守りながら活用していきます。



## 総合振興計画 後期基本計画 目標とする指標の達成状況

章	節	節名	指標名	担当	前期現状	前期目標	H22実績	後期目標	H27実績	達成	特記事項
1	2	生活環境の保全	リサイクル率(%)	くらしの相談課	17.4	26	19.7	23	16.6		市民の分別の意識が薄れている。
1	3	防災・防犯・交通安全の推進	出火件数(件)	くらしの相談課	24	減少	19	減少	22		※建物11、林野2、車両1、その他8
1	3	防災・防犯・交通安全の推進	交通事故死傷者数(人)	くらしの相談課	265	減少	190	減少	60	○	
1	4	住環境の整備と定住化の推進	地籍調査事業進捗率(%)	企画課	12.2	20	13.7	18	18.7	○	
1	6	上下水道の整備	水道普及率(%)	水道課	84.2	89	91	93	96.0	○	
1	6	上下水道の整備	汚水処理人口普及率(%)	下水道課	41.3	58	63.5	71.9	70.8		
1	6	上下水道の整備	水洗化率(%)	下水道課	70.7	73	72.7	76.7	75.9		経済的困難、生活上不便を感じていないこと等が理由
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	自殺の標準化死亡比	健康対策課	1.46	減少	0.96	減少	1.3		うつ等の早期相談や受診につなげていない。
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	基本健康診査受診率(%)	健康対策課	55.7	増加	46.2	増加	47.6	○	
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	悪性新生物の標準化死亡比	健康対策課	1.08	減少	1.04	減少	1.0	○	
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	心疾患の標準化死亡比	健康対策課	1.21	減少	1.22	減少	1.2	○	
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	脳血管疾患の標準化死亡比	健康対策課	1.35	減少	1.55	減少	1.5	○	
2	1	保健・医療の充実と健康づくり	乳幼児健康診査受診率(%)	健康対策課	88.9	100	98.5	100	98.6		個々のケースが複雑・深刻化している。
2	3	高齢者福祉の充実	老人クラブ加入者数(人)	長寿福祉課	5,606	6,700	4,690	4,925	3,879		
2	3	高齢者福祉の充実	地域密着型サービス施設及び事業(力所)	長寿福祉課	8	13	10	15	23	○	
2	4	障がい者福祉の充実	障害者地域生活支援事業利用実人数(人)	福祉課	238	300	365	400	480	○	
2	4	障がい者福祉の充実	市内グループホーム利用実人数(人)	福祉課	0	10	33	50	77	○	
2	4	障がい者福祉の充実	市内福祉ホーム利用実人数(人)	福祉課	2	12	4	12	6		
2	4	障がい者福祉の充実	市内就労支援利用実人数(人)	福祉課	12	79	110	130	195	○	
2	5	児童福祉の充実	一時保育実施保育所数(力所)	子育て支援課	9	11	10	11	13	○	子ども・子育て支援制度施行により2幼稚園分を含む
2	5	児童福祉の充実	延長保育実施保育所数(力所)	子育て支援課	6	10	7	10	10	○	
3	1	農林業の振興	農業生産法人数(団体)	農林課	19	25	21	30	26		
3	1	農林業の振興	新規就業者数(人)	農林課	7	10	18	28	28	○	H28年度4名の見込み
3	1	農林業の振興	農用地集積率(%)	農林課	37.2	50	48	65	65.0	○	(*県報告—作業受託分)
3	1	農林業の振興	ほ場整備率(%)	農林課	73.6	74	73.6	74	73.6		
3	1	農林業の振興	米の特別栽培面積(ha)	農林課	122	250	230	370	232		
3	1	農林業の振興	市民農園加入者数(人)	農林課	22	30	31	40	29		
3	1	農林業の振興	グリーンツーリズム活動実践者数(人)	農林課	2	20	2	20	5		(個人及び団体)
3	1	農林業の振興	林道密度(m/ha)	農林課	10.8	12	10.8	12	10.8		
3	2	商工業の振興	空き店舗率(%)	まるごと売る課	8	5	18	15	13.2	○	H27.10
3	3	観光の振興	観光入込客数(千人)	まるごと売る課	1,882	1,958	1,806	2,000	1,510		
3	3	観光の振興	外国人宿泊数(人)	まるごと売る課			533	5,000	468		
3	4	雇用・労働対策の充実	有効求人倍率(倍)	まるごと売る課	0.45	上昇	0.52	上昇	0.9	○	H28.3
3	6	地場産品の販路拡大	生協取扱品(品目)	まるごと売る課	8	13	12	15	13		
3	6	地場産品の販路拡大	生協取扱金額(百万円)	まるごと売る課	1,237	1,300	1,823	2,100	1,296		
4	1	生涯学習の推進	市民大学などの各種講習、講座数(件)	生涯学習課	214	236	216	220	288	○	
4	1	生涯学習の推進	図書館貸し出し利用者数(人)	生涯学習課	19,600	21,560			27,851	○	
4	1	生涯学習の推進	図書館利用者数(人)	生涯学習課			74,039	75,000	89,366	○	
4	1	生涯学習の推進	子ども体験活動参加者数(人)	生涯学習課	2,534	2,790					
4	1	生涯学習の推進	放課後子ども教室開設数(力所)	生涯学習課	7	10	7	7	7	○	
4	1	生涯学習の推進	放課後子ども教室利用者数(人)	生涯学習課			13,050	13,200	10,875		利用者の増減が地区によって差がある。
4	3	文化の継承・創造	佐竹南家御日記出版巻数(巻)	生涯学習課	5	8	8	10	11	○	
4	3	文化の継承・創造	文化会館利用者数(人/年間)	生涯学習課	130,686	140,000	138,716	140,000	79,915		市民要望に応えられる催しを企画するための予算が不足。
4	4	スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブ数(クラブ)	生涯学習課	3	4	3	4	4	○	
5	3	男女共同参画社会の形成	市審議会等の女性の割合(%)	企画課			26	30	37.7	○	

章	節	施策名	事業名	事業内容	主な実績(後期計画分)
第1章 豊かな自然が輝く	①自然環境の保全	世界ジオパーク認定の推進	ジオパーク推進事業	世界ジオパーク認定に向けた事業を展開	ジオパーク講演会、体験型イベント、学習発表交流会 等
		再生可能エネルギー導入の推進	地熱開発推進イベント開催	地熱に関する講演会、フォーラム開催	日本地熱学会湯沢大会(H24)、地熱EXPO(H26)、全国地熱自治体サミット(H27)
		河川環境の保全	河川環境保全事業	河川クリーンアップ活動への支援	白子川、姉倉沢川、寺田川、駒形黒沢川ほか
		森林空間の保全・整備	森林公園管理事業 松くい虫・ナラ枯れ防除等対策事業	森林公園の管理 被害木の伐倒・駆除・薬剤散布	天ヶ台森林公園(成沢)、市民の森(山谷) 関係機関と連携し調査等の実施
	②生活環境の保全	循環型社会の形成	ごみ減量化・リサイクル促進事業	ごみの減量(家庭系ごみ収集量)	H24:11,139t → H27:10,627t
				資源ごみ団体回収の奨励	H24~H27合計 671件 1,677,500円
		環境衛生の向上	環境美化活動事業 ごみ集積所ボックス設置整備事業	河川道路のクリーンアップ	雄物川、鉦打沢川、中井沢
				ごみ集積ボックス設置への補助	H24~H27計 117基、4,775,986円
	③防災・防犯・交通安全の推進	防災体制の整備・充実	地域防災計画の策定 防災備蓄品整備等事業 大規模防災訓練 空き家等危険家屋対策 災害時の要援護者避難体制の強化	防災会議に諮り、計画を修正	地域防災計画の策定(H29月)
				災害時に備えた生活物資等の備蓄品を整備	食料物資の備蓄については、H20年度6社と協定締結。
				防災意識の向上	湯沢市雄勝郡総合防災訓練(H24、H27)、冬季防災訓練(H27年1月、皆瀬地区)
				空き家や老朽危険家屋などへの指導助言	平成24年1月「湯沢市空き家等の適正管理に関する条例」制定 助言255件(解体93件)、指導16件(解体3件)、勧告8件(解体1件)
				災害時の要援護者名簿の作成	作成済:144行政区(35%)、H28年度末予定:234行政区(57%)
		消防体制の充実	消防施設整備事業	防災基盤の整備	ホース乾燥柱28基、水防倉庫5棟、ポンプ格納庫16棟、小型ポンプ17台、防火水槽10基 高規格救急自動車更新1台、ポンプ自動車更新1台、消防無線設備のデジタル化
		河川改修の促進	河川整備促進事業	改修促進協議会での要望活動等	湯沢統合堰の改築や河川改修等の要望
		防犯対策の強化	防犯灯管理事業	防犯灯のLED灯への移行等	LED灯増加数(H24~H27年度)347灯
		交通安全対策の推進	落石防止柵等整備事業	落石防止柵等による通行の安全確保	湯尻沢線ほか 3箇所
		消費者行政の充実	消費者相談への対応	消費生活相談員を配置(2名)	相談件数 748件(H23~H27年度)
	④住環境の整備と定住化の促進	計画的な土地利用の推進	国土利用計画策定事業 地籍調査事業	国土利用計画の策定	H28年度の改訂を予定
				雄勝・皆瀬・湯沢地域の調査を実施	H27末:湯沢12.40%、稲川39.45%、雄勝10.59%、皆瀬32.96%、全体18.70%
		市街地の整備	湯沢駅周辺地区環境整備事業	湯沢駅東西自由通路 駅前広場等の整備	東西自由通路開通(H27.11月)
		住宅・宅地の整備	公営住宅整備事業	公営住宅整備	住宅2棟4戸を建設
	⑤交通体系の整備	高速交通体系の整備促進	山形新幹線延伸早期実現活動事業 高規格道路促進事業	延伸の要望・請願活動、鉄道の利用促進活動	奥羽新幹線整備期成同盟会を設立予定(H28.9月)
				高規格道路事業促進費負担金等	院内道路(H28年度開通予定)
		道路網の整備	都市計画道路整備事業	湯沢駅周辺の都市計画道路整備	新開地線・駅西線整備
		公共交通体系の整備	生活バス路線運行対策事業 地域公共交通計画策定事業 鉄道利用促進事業	シャトルバス、乗合タクシー運行	H27利用者数:シャトル10,007人、乗合タクシー20,222人
				地域公共交通計画策定	地域公共交通網形成計画(H28.1月)
	⑥上下水道の整備	上水道の整備	配水管布設替事業	配水管施設整備工事(下水道関連 湯沢上水道区域)	水道普及率96.0%
				配水施設整備事業	配水施設整備工事
		簡易水道の整備	下水道加入促進対策事業 下水道処理施設普及促進事業	受益者負担金一括納付奨励金による加入促進	小安簡水、三ツ村簡水、真木簡水、小沢簡水、宇留院内簡水、小淵ヶ沢小規模水道 汚水処理人口普及率70.8%
				下水道処理施設普及促進事業	水洗化率75.9%
	⑦克雪対策	除排雪体制の整備	除雪機械整備事業	除雪機械の更新	除雪ドーザ 8台、除雪ロータリ 1台、小型除雪車 1台
		克雪施設の整備	防雪柵整備事業	防雪柵の設置	環状2号線、岩崎森合線ほか
			消流(融)雪施設整備事業	消流(融)雪整備事業	松沢山線ほか
	⑧地域情報化の推進	地域情報化の推進	eゆざわ情報化推進事業	イントラネット設備・保守等	光ファイバー網の市内各施設への整備
			テレビ難視聴地域解消事業	テレビ共同受信施設の改修、新設	デジタル放送の難視聴地域の解消

章	節	施策名	事業名	事業内容	主な実績(後期計画分)
第2章 健康と暮らしをともに支える	①保健・医療の充実と健康づくり	保健事業の推進	健康づくり事業	各種住民検診、健康教室等の実施	がん検診受診率(H24→H27) ・胃がん 17.6%→18.7% ・大腸がん28.1%→30.7% ・肺がん13.2%→9.4% ・子宮がん20.0%→21.0% ・乳がん27.5%→29.5% ・前立腺がん28.5%→30.5%
			結核予防事業	結核検診、結核予防婦人会活動等	結核健診受診率 47%
			新型インフルエンザ対策事業	新型インフル対策行動計画策定、啓発活動	平成26年度に行動計画を策定
			自殺予防事業	研修会・講演会・アンケート調査実施	前年度より1名減
			フッ素洗口事業	フッ素うがいの実施	希望率 97%
		地域医療体制の整備	地域医療確保対策事業	医師研修資金貸与事業	H23年度以降、利用なし
			救急医療支援事業	救急医療対策運営費補助金	救急医療対策補助金:52,275千円、小児医療対策補助金:19,224千円
			国民健康保険事業の円滑な運営	保険基盤安定化事業(国保)	低所得被保険者の税負担の軽減
		特定健康診査等事業(国保)		特定健康診査・特定保健指導	特定健康診査受診率(H24→H26) ・受診率 46.2%→47.4% ・保健指導実施率 9.7%→8.0%
		福祉医療の給付	福祉医療給付事業	子ども、ひとり親家庭児童、高齢身障者、重度心身障害者に対する医療費の給付	子どもについて拡大(H24年8月:小学生まで、H28年8月:中学生まで)
	②社会福祉の充実	社会福祉の推進	地域福祉計画に基づいた取組	生活困窮者自立相談支援事業	自立相談支援事業の他、就労準備支援事業、家計相談支援事業、生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業を実施
	③高齢者福祉の充実	高齢者福祉の推進	老人クラブ活動事業	活動費として補助金を交付	対象:93クラブ
			高齢者在宅生活支援サービス事業	福祉除雪・雪下ろし助成、外出支援、配食サービス、ふれあい安心電話等	H27実績:福祉除雪(6,862回)、雪下ろし費用助成(1,137回)、ふれあい安心電話(429台)、外出支援(1,475回)、配食サービス(1,024食)
		高齢者福祉施設の整備・運営	高齢者福祉施設運営維持管理事業	老人福祉センター、老人憩いの家、ケアハウス、高齢者生活支援ハウス、高齢者相互援助ホーム	憩いの家改修
			老人福祉施設整備事業	平成園補助金、かむろ利子補給補助金	地域密着型介護老人福祉施設の整備(H26:1ヶ所)
	④障がい者福祉の充実	障がい者福祉施策の充実	地域生活支援事業	相談・コミュニケーション支援、日常生活用具給付、移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービス等	基幹相談支援センター設置(H24)
			障がい者福祉一般事業	人工透析、障がい福祉サービス事業所までの交通費支援	交通費支援(10円/km)
			障がい者福祉施設の整備	放課後等デイサービス事業所	2ヶ所(H24)
	⑤児童福祉の充実	子育て支援の推進	次世代育成支援対策事業	地域行動計画の策定	H27～31年度の5ヶ年計画
			子育て支援事業	子育て短期支援事業、認可外保育所入所幼児保育料助成	H27:短期支援の利用なし
			住宅整備資金貸付事業	住宅整備資金の貸付	高齢者、母子家庭及び寡婦家庭等を対象
			家庭児童相談室事業	家庭相談員配置、乳児教室開催	子育て支援課内へ相談員3名配置
		保育事業の推進	保育推進事業	延長保育、一時保育、障害児保育、休日保育、保育所地域活動、病児・病後児保育	各園で実施
			保育施設等管理運営委託事業	皆瀬保育園の運営	皆瀬福祉会へ指定管理
			私立保育所運営費負担金事業	広済会保育園、みたけ保育園、岩崎保育園、深堀保育園、乳児保育園、双葉乳児保育園、あおぞら保育園、駒形保育園	運営費について負担金を拠出
			子ども子育て支援事業費	教育保育施設施設型給付費	各私立保育所、認定こども園、幼稚園、他市町村教育保育施設
			児童館運営事業	児童館の運営指定管理	秋ノ宮児童館、小野児童館、院内児童館
			保育所運営事業	市立、私立保育所等運営	双葉乳児保育園、深堀保育園、あおぞら保育園、湯沢よつば保育園、おがち保育園
地域子育て環境の充実		放課後児童健全育成事業	児童館や学校施設等を利用した学童保育	学校施設等11ヶ所	
		ファミリーサポートセンター事業	施設運営費	基幹センター1ヶ所	
		子育て支援総合センター事業	子育て支援に関する事業、民間保育園事業委託関係	総合センター1ヶ所、民間3ヶ所(皆瀬、雄勝、あおぞら)	

章	節	施策名	事業名	事業内容	主な実績(後期計画分)
第3章 ふるさとの 技が輝く	①農林業の振興	農畜産物生産振興と流通販売対策	あきたを元気に！農業夢プラン実現事業	農業機械、施設等導入費用の補助	認定農家・農業法人52件への支援の実施
			特色ある作物栽培チャレンジ事業	振興作物の生産拡大等	認定農業者以外の農家13名への支援の実施
			湯沢ブランド米生産販売推進対策事業	湯沢産米のブランド化に向けた取り組み	金のいぶき作付面積18.5ha
			水田農業構造改革対策事業	湯沢市水田農業推進協議会補助金等	生産目標達成率101.35%
			農業振興対策事業	高品質果実生産振興補助金等	利子補給補助44件
			畜産振興対策事業	家畜の法定伝染病予防、酪農ヘルパー派遣	ヘルパー派遣6戸・利子補給補助11件
			地域農産物生産消費拡大推進事業	酒米振興対策、産地直売活動支援	秋田酒こまち作付面積157.3ha・美山錦232.4ha
		農業経営基盤の充実・強化	担い手育成確保対策事業	新規就農者、認定農業者等への支援	新規就農者28名、青年就農給付金受給19名
		農業振興指導体制の充実・強化	農業総合指導センター活動事業	農業総合指導センター負担金	関係機関団体活動に対して支援の実施
		農業生産基盤の整備	農業施設改良補修事業	農道・水路の補修等	湯沢地区7箇所・雄勝地区20箇所・皆瀬地区3箇所
			基盤整備促進事業	農道舗装・用水路工事、排水路整備	調査測量の実施
			農業水利施設保全対策事業	土地改良区に対する農業用施設の維持管理費補助金	3地区改良区地域内施設の整備の実施
		環境保全型農業の推進	循環型農業推進事業	循環型農業推進センター、稲川有機センター、皆瀬堆肥センター運営	受入件数2,022件・堆肥販売件数1,056件
		農山村地域の活性化	都市農村交流推進事業	交流を通じての直販活動の展開、グリーンツーリズムの推進	バルシステム・あきた南部圏食と農推進協議会活動
		林業基盤の整備促進	林業用施設維持管理事業	林道維持補修工事、林道災害パトロール	市管理林道181kmの維持補修を実施
			作業道整備促進事業	皆瀬地域の市有林に係る林道、作業道の整備	作業道の整備(旧皆瀬村造成の公営林650ha)
		森林機能の保全	公有林整備事業	公有林の整備	下刈り、除伐、間伐枝打ち施業
			緑の促進、緑の普及事業	緑化運動・募金活動補助金等	団体への植樹事業の支援の実施
		内水面漁業の振興	稚魚放流拡大事業	稚魚放流への支援	管内3漁業協同組合に対して支援の実施
	②商工業の振興	産業振興体制の整備・強化	商工会・商工会議所活動支援事業	ふるさと企業振興基本条例の制定	H27制定
		市街地・商業の活性化	にぎわいのある魅力的な中心市街地づくり事業	空き店舗改装補助金等	空き店舗率の改善 H22:18%→H27:13.2%
			伝統的工芸品産業支援事業	川連漆器・川連こけし産業等の支援	ユニバーサルデザインの開発
			チャレンジ助成事業	先駆的な地域経済活性化事業への支援	実施事業者60件(内新商品開発事業13件)
		中小企業の経営支援	全国うどんまるごと博覧会開催事業	“稲庭うどん”のブランド力を活かした地域産業の活性化支援	来場者伸び率:平均16%(H27:10万人)
			金融対策事業	中小企業貸付預託金保証料、利子補給	保証料補給(H17~H212末実績)延べ6,650件 27,567,959円
		企業誘致の推進	商工振興事業	商工業セミナー開催、商工業振興事業説明会参加	H27団体補助実績 634,390円
	企業誘致対策事業	誘致企業懇話会開催、企業訪問、工業団地の管理、新增設補助金	2社(YGF、共立メンテナンス)		
	③観光の振興	観光拠点施設等の整備・運営	とことん山等観光施設管理事業	キャンプ場運営 等	指定管理者:皆瀬村活性化センター
			ほっと館運営事業	施設管理運営費	指定管理者:雄勝観光協会
			観光施設等維持管理事業	施設管理運営費	児童公園、西山公園、大館バラ園、東山森林公園、小町塚等
			皆瀬観光物産館管理運営事業	施設管理運営費	皆瀬観光物産館
			稲庭城管理運営事業	施設管理運営費	指定管理者:稲川物産観光協会
			小安峡温泉総合案内拠点施設管理運営事業	施設管理運営費	指定管理者:湯沢市観光物産協会
			緑地広場等管理運営事業	施設管理運営費	観光ダリア園
			観光宣伝事業	観光・物産情報の発信事業	新聞や雑誌、フリーペーパーへの掲載、パンフレット等の配布
			自然公園管理事業	西栗駒国立公園周辺整備	散策路、誘導看板、ハイキングコース等
			観光イベント開催事業	各種イベント開催への補助	七夕絵どうろうまつり、犬っこまつり、小町まつり、雄勝花火大会等
			がっちりかたくみ観光連携事業	各種観光キャンペーン開催、地域連携交流	栗原市や一関市、県南が連携した広域キャンペーン
			観光物産展開催事業	観光物産キャンペーン開催	仙台、東京(麻布など)、釧路等でのキャンペーン
		魅力ある温泉観光地の形成	温泉給湯施設管理事業	癒し系温泉施設整備事業	温泉井整備、景観整備等
	④雇用・労働対策の充実	就業機会の拡大	雇用創出対策事業	起業サポート補助、若者ごと支援事業補助	起業サポート補助金6件、起業セミナー(年3回)、会社説明会(年2回)等
⑥地場産品の販路拡大	地場産品の販路拡大	海外販路開拓事業の推進	商談会出展・研修会及び市場調査を実施	海外展開事業:8件	

章	節	施策名	事業名	事業内容	主な実績(後期計画分)
第4章 あたたかな心と豊かな文化	①生涯学習の推進	生涯学習推進体制の整備	社会教育中期計画策定事業	計画策定	第3次社会教育中期計画を策定(H23)
		生涯学習活動の展開	日本語学習支援事業	日本語を母国語としない外国籍市民を対象とした日本語講座	H27受講延人数:350人(開催日数:59日)
		図書館活動の推進	図書館蔵書整備事業	図書館の蔵書整備	子ども読書活動推進計画を策定(H23)
		青少年健全育成の推進	放課後子どもプラン推進事業 家庭教育推進事業	小学生の放課後の居場所の確保 家庭教育推進事業	H27延利用者数:10,695人(湯沢地域7か所での開催) 命の大切さ事業(H27:小学校13校、中学校5校、受講者計 1,241名)
	②学校教育の充実	特色ある教育の推進	特別支援教育推進事業	学校生活サポート支援員配置	支援員配置:31名(小学校25名、中学校6名、H27より10名増員)
			英語指導助手配置事業	外国語指導助手配置事業	ALT2名増員(H28月より)
			総合的な学習推進事業	キャリア・ふるさと教育の充実	農業体験、職業講座、郷土史学習 等
			学校評議員事業	各学校に学校評議員設置	小学校43名、中学校22名
		学校教育環境の整備・充実	教育用機器整備事業	教育用コンピュータの整備	教育用PCを更新、各学校間での不均衡を解消
		児童生徒通学手段確保事業	スクールバス運行、通学費助成	児童生徒へのスクールバスによる通学支援	
		総合学校給食センター整備事業	統合給食センターの建築	本体工事着工(H27~H28)	
	就学への支援	奨学金貸与事業	基金による奨学金の貸与	奨学金制度を統合、市内同一の条件での貸与を実施(H26年度)	
		奨学金貸与事業	基金による奨学金の貸与	奨学金制度を統合、市内同一の条件での貸与を実施(H26年度)	
	③文化の継承・創造	文化遺産の保護	歴史民俗資料収蔵施設整備事業	文化財の収蔵、公開施設の整備	郷土学習資料展示施設(H26開設、H28リニューアル)
			湯沢城址遊歩道整備事業	遊歩道整備を実施	湯沢城址の遊歩道を整備
			文化財図録編纂事業	新湯沢市の文化財図録を編纂する	図録発刊予定(H23月)
			「佐竹南家御日記」翻刻事業	2年に1巻程度で翻刻発刊	H25:第10巻発刊、H27:第11巻発刊
		文化振興体制の強化	民俗芸能保存継承支援事業	地域伝統芸能の保存・継承のための補助	板戸番楽、役内番楽、湯沢祇園囃子、関口ささら舞、高松番楽、芸術文化協会等
	文化活動の展開	文化会館事業	文化会館での自主事業の開催	H27:4事業	
		サマーミュージックフェスティバル事業	音楽のまちゆざわのアピール	入場者数640人	
	④スポーツの振興	ライフステージに合わせたスポーツの振興	地域スポーツ振興事業	体かづくりの日常化、スポーツ参加の啓蒙、	学校体育施設開放事業:利用62団体(H27実績)
			生涯スポーツの充実	スポーツ振興事業	中高年世代のスポーツ参加機会拡充
		スポーツ環境の充実	スポーツ関係組織のネットワークづくり	スポーツ関係団体の連携強化と活動基盤の充実	団体の自主自立に向けた育成支援
			スポーツ施設の整備と有効活用	既存施設の有効活用、指定管理者制度の推進	湯沢市スポーツ施設整備基本計画を策定
		スポーツによる地域の活性化	スポーツ大会、スポーツイベント等の開催誘致	スポーツ大会・イベント等の誘致、既存スポーツ大会の拡充	七夕健康マラソン大会を開催(毎年600人前後)
	行政とスポーツクラブとの協働		総合型地域スポーツクラブとの連携・支援、活動支援	総合型地域スポーツクラブ4ヶ所	
	⑤都市間交流・国際交流の推進	地域間・国際交流事業の推進	峠サミット事業	主要道路整備の促進による交流活性化アピール	H28より新庄市を加え、東北どまんなかサミットとして再構成
日独交流中学生派遣事業			ドイツ・ジークブルク市中学生相互訪問	H26受入10名、H27派遣17名(中学生のみ)	

章	節	施策名	事業名	事業内容	主な実績(後期計画分)
第5章 みんなが 築く夢が 輝く	①参加・協働のまちづくり	地域自治組織の育成	地域自治組織交付金事業	コミュニティ活動、地域づくり事業への支援	H24～27年度交付金実績:188団体(122,500千円)
		地域自治組織活動の支援	提案型補助金事業	地域活性化と課題解決に向けた提案型補助金事業	H24～27年度補助実績:59事業(20,582千円)
			自治会館整備費補助事業	自治会館整備への補助	H24～27年度実績:25事業(12,956千円)
	②少子高齢化に対応したまちづくり	子育て支援	子育て教育等支援事業	子育て講座等の体験学習	5歳児教育相談
			子育てガイドブック配布事業	子育てに関わる情報を網羅した案内本配布事業	H27よりライフイベントサポートブックとして全戸配布
			子育てリフォーム助成事業	子育てリフォーム助成事業	利用なし
			ブックスタート事業	ブックスタートパック配布事業	7ヶ月検診時に配布
		定住化対策	定住自立圏構想策定事業	定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催	第2次湯沢雄勝地域定住自立圏共生ビジョン策定(H28.3月)
	③男女共同参画社会の形成	男女共同参画社会への環境整備	男女共同参画事業	条例制定、計画策定、宣言都市奨励事業、意識醸成事業、男女共同参画センター運営事業(ソフト)	市審議会等の女性委員の割合:38%(目標30%)
			開かれた行政の体制づくり	広報ゆざわの発行事業	広報誌による情報発信
	④効率的で効果的な行政運営の構築	開かれた行政の体制づくり	市ホームページ充実事業	ホームページによる情報発信	随時更新
			コミュニティFMによる市政情報発信事業	FM放送を利用した情報発信	H27:693回
			行財政運営の効率化	行財政改革大綱等推進事業	進行管理
		行財政改革推進プログラム推進事業	計画策定、進行管理		
		公共施設等総合管理計画事業	公共施設の計画的配置	H28策定(予定)	
	行政評価導入事業	事業仕分け	職員による内部評価を実施		